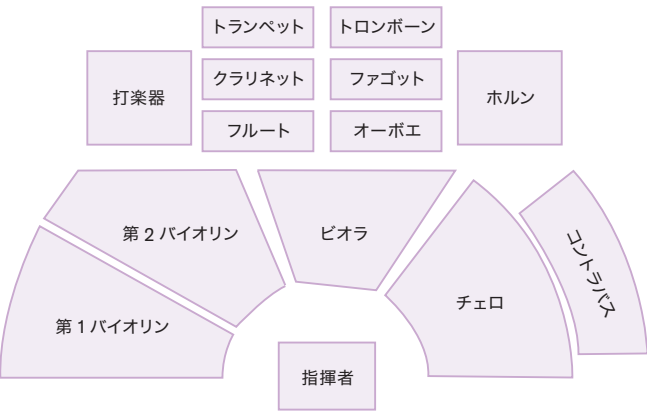


オーケストラの楽器編成

オーケストラ〈弦楽器+木管楽器+金管楽器+打楽器〉



現代の一般的なオーケストラの配置



●編成

オーケストラには曲目の編成によって50人程度の小編成から100人を超す大編成まで様々です。現代の一般的な配置図は上の図の通りですが、古典的な配置では第1バイオリンと第2バイオリンが向かい合って座ったり、ホルンが打楽器の位置に入ったりと絶対的な基準ではありません。

●近年の傾向

オーケストラが前頁で紹介した吹奏楽やマーチングバンドと大きく異なるところは、弦楽器が入ることです。近年、将来的にオーケストラ編成での活動を見越して、弦楽器でのアンサンブルを取り入れる学校も多くあります。

カルテットからオーケストラまでの編成と楽器数

		弦楽カルテット	弦楽合奏	室内合奏	オーケストラ
楽器類	楽器名	4人	12人	35人	69人
弦楽器	第1バイオリン	1	4	8	14
	第2バイオリン	1	3	6	12
	ビオラ	1	2	4	10
	チェロ	1	2	2	8
	コントラバス		1	2	6
木管楽器	フルート			2	2
	クラリネット			2	2
	オーボエ			2	2
	ファゴット			2	2
金管楽器	トランペット			2	2
	トロンボーン				3
	ホルン			2	4
	チューバ				1
打楽器	ティンパニ			1	1

※古典派作品の1例 ※ロマン派作品の1例
注:管打楽器編成により増減します。

●弦楽合奏の形態

弦楽合奏のもっとも小さな編成はカルテットと呼ばれるバイオリン2台、ビオラ1台、チェロ1台の計4人での編成です。そこから発展して12人程度でコントラバスが加わったのが弦楽合奏です。カルテットも弦楽合奏も多くの偉大な作曲家の作品を演奏することができます。

●完成形としてのオーケストラ

弦楽合奏や室内合奏編成では、少人数でも17世紀からのバロックや古典派の数多くの名曲を演奏することができ、ロマン派以降の作品では演奏する為に100人以上の編成が必要な曲もあります。様々な人数で、遥か昔の作曲家のメッセージを読み取り演奏するオーケストラは、世界中で数多くの楽団があり、著名なアーティストが活躍しています。